

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2017年 第22週（5月29日～6月4日）

## ★お知らせ

○手足口病に気を付けて！

**県全域で注意報値である2.00を超えています。**

定点医療機関当たりの報告数は第21週の1.07から第22週では2.60と急増し、注意報値を超えています。中央東、中央西、高知市、幡多で急増、須崎で増加し、須崎では3週連続で警報値を、中央東、中央西、高知市で注意報値を超えています。

定点医療機関からのホット情報でも手足口病の流行の継続が報告されています。

全国でも定点医療機関当たりの報告数は第13週以降増加が続いているために注意が必要です。

手足口病は、4歳くらいまでの幼児を中心に夏季に流行が見られる疾患で、2歳以下が報告の約半数を占めます。学童でも流行的発生がみられることもあります。特に、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。

この病気は、通常は3～5日の潜伏期をおいて、口の中、手のひら、足の裏や足背などに2～3mmの水疱性発疹ができます。ほとんどの発病者は数日間のうちに治る病気ですが、ごくまれに髄膜炎や脳炎などを生じることがありますので、高熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意してください。また、倦怠感や口腔内の痛みなどから食事や水分を十分にとれず、脱水になることもありますので、こまめな水分補給を心がけてください。

回復後も2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、幼稚園、保育園、学校など集団生活ではタオル・コップ等を共用することは避けましょう。特に、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いをしましょう。

高知県全域と保健所別の定点当たり報告数と警報・注意報レベル状況（2017年第22週）

【手足口病】

	今週		1週前		2週前		3週前		4週前	
	第22週		第21週		第20週		第19週		第18週	
	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況
高知県全域	2.60	○	1.07	-	0.83	-	0.10	-	0.03	-
安芸		-		-		-		-		-
中央東	3.57	○	0.86	-	0.14	-		-	0.14	-
高知市	2.27	○	1.00	-	1.09	-	0.27	-		-
中央西	3.00	○	0.33	-		-		-		-
須崎	9.00	△	7.00	△	5.50	△		-		-
幡多	0.20	-		-	0.20	-		-		-
全国			0.97	-	0.86	-	0.52	-	0.44	-

注意報値：○（2以上5未満） 警報値：△（5以上）

○咽頭結膜熱（プール熱）に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第21週の0.33から第22週では0.67と急増しています。幡多、須崎、中央東で急増、高知市で増加し、高知市、幡多では注意報値を超えています。

定点医療機関からのホット情報でもアデノウイルス感染症として8例の報告があり注意が必要です。

咽頭結膜熱は、アデノウイルス感染による、発熱（38～39度）、のどの痛み、結膜炎を主症状とする小児に多い疾患で、例年5月中旬から下旬頃にかけて患者数が増加し始め、7月下旬から8月上旬をピークとする流行が見られる夏期の疾患で、プールを介して流行することが多いことから、「プール熱」とも呼ばれています。

感染経路は通常、飛まつ感染または手指を介した接触感染ですが、プールでは眼の結膜からの感染も考えられています。以下のことに気を付け、感染予防に努めましょう。

- 1) 流行時には流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。
- 2) 感染者との密接な接触は避けましょう。
- 3) タオル等は別のものを使いましょう。
- 4) プールからあがった時はシャワーをよく浴びましょう。

## ○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第21週の2.20から第22週では2.77と増加しています。高知市、中央西、中央東で増加し、高知市では注意報値を超えています。

定点医療機関からのホット情報では溶連菌感染症として16例の報告があります。

学校等欠席者・感染症情報システム※でも12例の報告があることから、引き続き注意が必要です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる飛まつ感染、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染が主な感染経路です。

突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。症状は1週間以内に消失する予後良好の疾患ですが、まれに重症化し猩紅熱に移行する場合があります。合併症には肺炎、髄膜炎、肺血症などがありますので、うがい、手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

## ○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第21週の4.57から第22週では3.57と減少しています。中央西で急増、幡多で増加していますが、須崎で急減、安芸、高知市、中央東で減少しています。

定点医療機関からのホット情報ではロタウイルス8例の報告があり、基幹定点からの感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）が8例報告されています。病原体検出情報では、第19週に搬入された検体で須崎からRotavirus group A NTが1件検出されています。また、病原性大腸菌やサルモネラ属菌（第21週の報告も含む）など細菌を原因とする胃腸炎3例の報告もあります。

学校等欠席者・感染症情報システム※でも14例の報告があることから、引き続き注意が必要です。

ロタウイルス感染性胃腸炎とは、例年、3月～5月にかけて乳幼児を中心に流行するロタウイルスによる胃腸炎で、主な症状は、水のような下痢、吐き気、嘔吐（おうと）、発熱、腹痛です。脱水症状がひどくなると点滴が必要となったり、入院が必要になることがあります。脱水を防ぐための水分補給や体力を消耗したりしないように栄養を補給しましょう。

予防には手洗いが有効です。帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。また、便や嘔吐物を処理する時は、感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用法を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

また、ロタウイルスによる感染症の予防対策には予防接種があり、乳幼児を中心に受けることができますので、かかりつけの医療機関にご相談ください（任意接種）。

細菌による感染性胃腸炎のほとんどの場合、患者との接触（便など）や汚染された水、食品によって経口的に感染します。これら細菌による感染性胃腸炎の予防対策としては、食中毒の一般的な予防方法（①つけない（洗う・分ける） ②増やさない（低温保存・早めに食べる） ③やっつける（加熱処理））を励行しましょう。

## ○伝染性紅斑（りんご病）に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第21週の0.10から第22週では0.10と横ばいですが、須崎、高知市で急増し、須崎では注意報値を超えています。

伝染性紅斑は、通常10～20日の潜伏期間の後、頬に境界鮮明な紅い発疹（リンゴの頬）が現れ、続いて手・足に網目状・レース状・環状などと表現される発疹がみられます。胸腹背部にもこの発疹が出現することがあり、これらの発疹は通常1週間前後で消失します。頬に発疹が出現する7～10日くらい前に、微熱や風邪のような症状が見られ、この時期がウイルスの排泄量ももっとも多く、発疹が現れる時期にはウイルスの排泄量は低下し、感染力もほぼ消失します。

予防には、手洗い、うがい、咳エチケットが有効です。予防接種はありません。ウイルス排泄時期には特徴的な症状を示さないため、保育園や学校など周囲で患者発生が見られる場合、妊娠中あるいは妊娠の可能性のある女性はできるだけ患者との接触を避けるよう注意しましょう。

※ 学校等欠席者・感染症情報システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム

**☆山や草むらでの野外活動の際にはマダニに注意！**

第22週に今年初めてSFTS（重症熱性血小板減少症候群）の発生届けが1例ありました。日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）は比較的大型（吸血前で3～4mm）のマダニが媒介する感染症です。

キャンプ、ハイキング、登山、ゴルフ、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。この時期、野山に生息するマダニに刺されることで感染症を起こすことがあります。

全てのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、これらのマダニに咬まれないようにすることが感染の予防になります。（予防するためのワクチン等はありません。）

野山や畑、草むら等に出かける時には長袖・長ズボンを着用し、シャツの裾はズボンの中に入れ、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる等、肌の露出を少なくし、マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を使用する等して、効果的な対策を自ら取ることが大切です。

**発熱等の症状が出たとき**

野山に入ってからしばらくして（数日～2週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

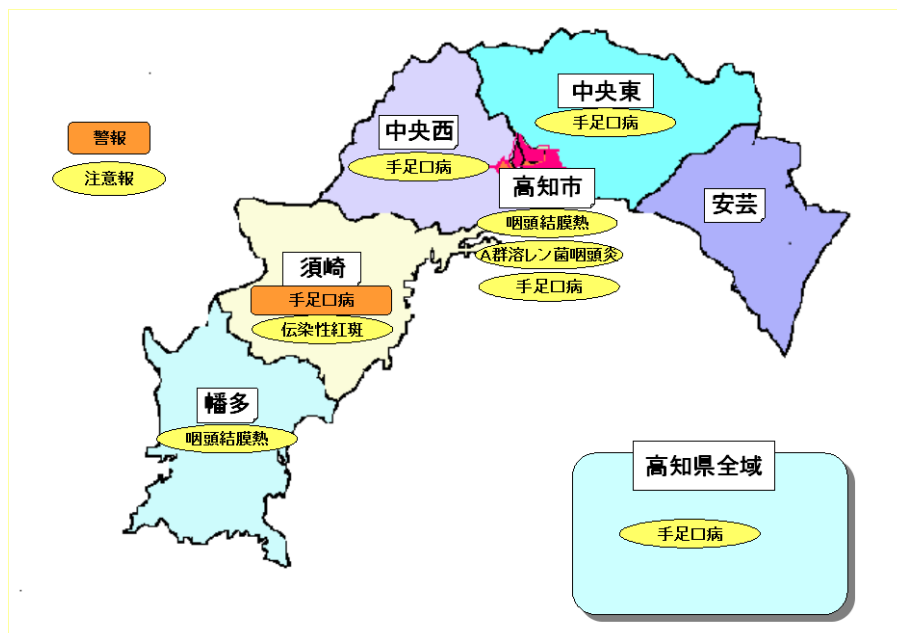
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

**★県内での感染症発生状況**

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減  
22週（5月29日～6月4日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	<span style="color:blue">↘</span>	3.57	中央西で急増、幡多で増加していますが、須崎で急減、県全域、安芸、高知市、中央東で減少しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<span style="color:magenta">↗</span>	2.77	須崎で急減、幡多で減少していますが、県全域、高知市、中央西、中央東で増加し、高知市では注意報値を超えています。
手足口病	<span style="color:red">↑</span>	2.60	県全域、中央東、中央西、高知市、幡多で急増、須崎で増加し、須崎で警報値、県全域、中央東、中央西、高知市で注意報値を超えています。
水痘	<span style="color:magenta">↗</span>	0.77	幡多で急減していますが、県全域、高知市で増加しています。
咽頭結膜熱	<span style="color:red">↑</span>	0.67	県全域、幡多、須崎、中央東で急増、高知市で増加し、高知市、幡多で注意報値を超えています。

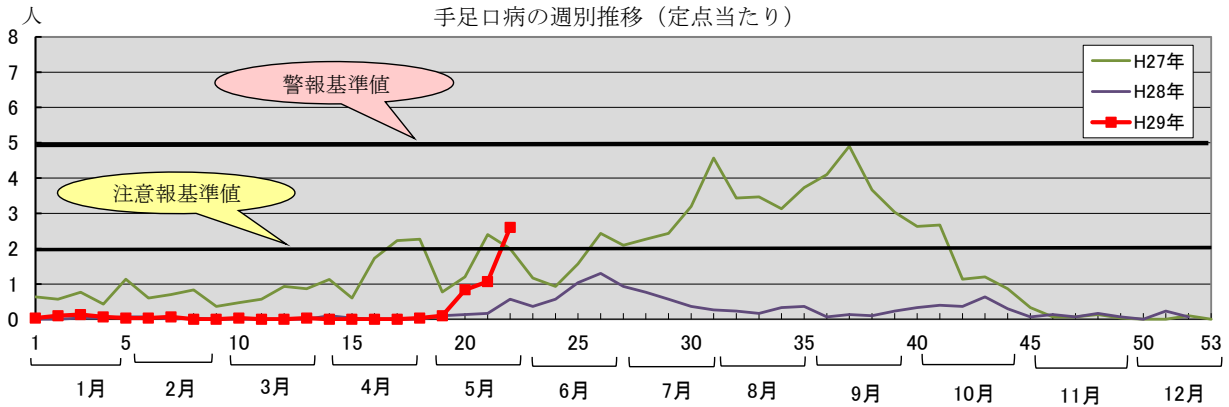
**★地域別感染症発生状況**



★気を付けて！

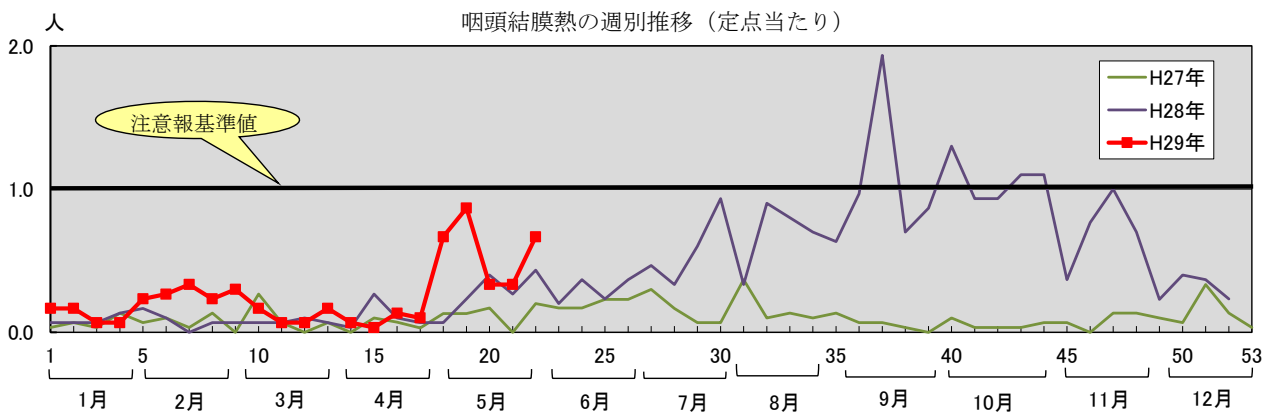
○手足口病 第22週：2.60 (注意報値：2.00 警報値：5.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.60 (前週：1.07) と急増し、注意報値を超えています。中央東 3.57 (前週：0.86) 中央西 3.00 (前週：0.33) 高知市 2.27 (前週：1.00) 幡多 0.20 (前週：0.00) で急増、須崎 9.00 (前週：7.00) で増加し、須崎では警報値、中央東、中央西、高知市では注意報値を超えています。第22週の情報年齢別にみると、95%の患者が3歳以下になっています。



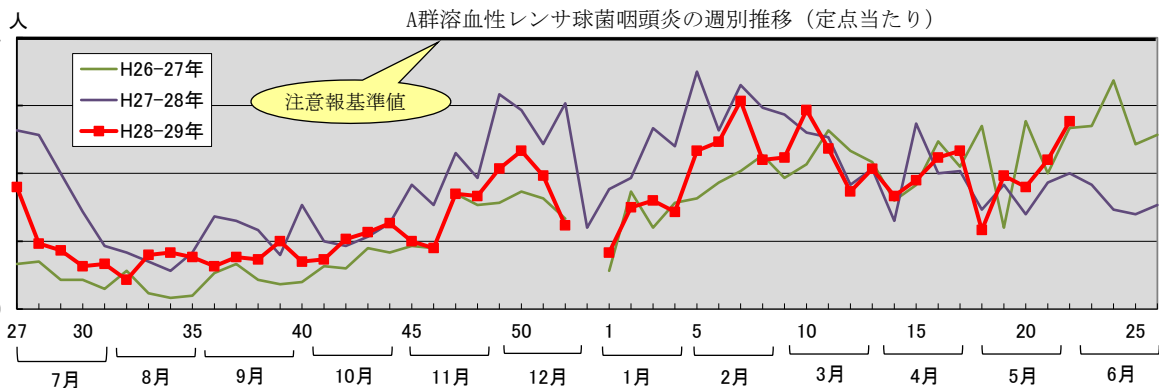
○咽頭結膜熱 第22週：0.67 (注意報値：1.00 警報値：3.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.67 (前週 0.33) と急増しています。幡多 1.00 (前週：0.20) 須崎 0.50 (前週：0.00) 中央東 0.29 (前週：0.14) で急増、高知市 1.09 (前週：0.73) で増加し、高知市、幡多で注意報値を超えています。



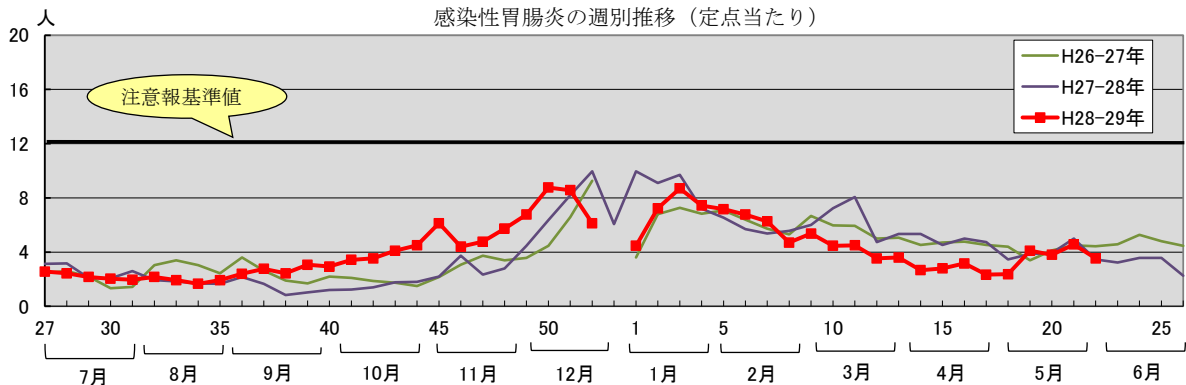
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 第22週：2.77 (注意報値：4.00 警報値：8.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.77 (前週：2.20) と増加しています。須崎 1.00 (前週：2.00) で急減、幡多 3.00 (前週：3.60) で減少していますが、高知市 4.27 (前週：2.73) 中央西 2.00 (前週：1.33) 中央東 1.86 (前週：1.43) で増加し、高知市では注意報値を超えています。



○感染性胃腸炎 第22週：3.57（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 3.57（前週：4.57）と減少しています。中央西 2.00（前週：1.00）で急増、幡多 3.40（前週：2.60）で増加していますが、須崎 0.00（前週：2.00）で急減、安芸 6.00（前週：8.00）高知市 5.00（前週：6.64）中央東 2.43（前週：4.00）で減少しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、グラフ横軸に第53週を挿入しています。

そのため、H26-H27年とH28-H29のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
21	急性上気道炎	39℃,発疹,	1	女	高知市	Human herpes virus 6
21	不明発疹症	38℃,発疹,	3	女	須崎	Human herpes virus 6

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
19	感染性胃腸炎	37℃,下痢,	3	男	須崎	Rotavirus group A NT
20	感染性胃腸炎	38℃,下痢,咳漱,	1	女	高知市	Adenovirus 1
20	手足口病	発疹,	1	女	幡多	Adenovirus 2

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	37	80歳代 女	中央東
		1		70歳代 男	
5類	梅毒	1	10	70歳代 女	高知市
	重症熱性血小板減少症候群	1	1	60歳代 女	幡多
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	8	60歳代 男	高知市
		1		80歳代 女	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	あけぼの小児クリニック	サルモネラ腸炎 1 例 (2 歳男)
	早明浦病院小児科	溶連菌感染症 1 例 (11 歳女 : 4 回再発) 溶連菌感染症が増加 手足口病大川村で流行
高知市	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス咽頭炎 4 例 (1 歳 3 人、3 歳 1 人) 病原性大腸菌 O-153 腸炎 1 例 (3 歳) マイコプラズマ肺炎 1 例 (7 歳女)
	高知医療センター小児科	アデノウイルス 2 例 (11 ヶ月男、2 歳女) ロタウイルス 1 例 (11 ヶ月男)
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症 15 例 手足口病がはやってきている 水痘 2 例 (1 歳男、4 歳女 : ワクチン未接種)
	細木病院小児科	ノロウイルス 1 例 (2 歳男) ロタウイルス 7 例 (1 歳男、2 歳男、4 歳男 2 人、9 歳男、11 ヶ月女、1 歳女)
中央西	くぼたこどもクリニック	手足口病 1 例 (1 歳女 : 県外から帰省)
	日高クリニック	アデノウイルス扁桃炎 2 例 (1 歳男、2 歳男)
須崎	もりはた小児科	手足口病の流行が続く 21w サルモネラ O-7 腸炎 1 例 (13 歳男)

★全国情報

第 20 号 (5 月 15 日～5 月 21 日)

1 類感染症 : 報告なし

2 類感染症 : 結核 359 例

3 類感染症 : コレラ 1 例、細菌性赤痢 3 例、腸管出血性大腸菌感染症 34 例

4 類感染症 : E 型肝炎 2 例、A 型肝炎 5 例、重症熱性血小板減少症候群 3 例、つつが虫病 7 例、  
デング熱 3 例、日本紅斑熱 10 例、レジオネラ症 16 例

5 類感染症 : アメーバ赤痢 12 例、ウイルス性肝炎 4 例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 18 例  
急性脳炎 13 例、クリプトスポリジウム症 1 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例  
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 7 例、後天性免疫不全症候群 25 例、ジアルジア症 3 例、  
侵襲性インフルエンザ菌感染症 7 例、侵襲性髄膜炎菌感染症 1 例  
侵襲性肺炎球菌感染症 74 例、水痘 (入院例に限る) 5 例、梅毒 96 例  
破傷風 2 例、風しん 1 例、麻しん 3 例

報告遅れ : E 型肝炎 2 例、エキノコックス症 9 例、つつが虫病 1 例、日本紅斑熱 1 例、レジオネラ症 5 例  
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 19 例、急性脳炎 7 例、  
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 4 例、水痘 (入院例に限る) 4 例、梅毒 32 例

削除予定 : レプトスピラ症 1 例、麻しん 1 例

-----

### 高知県感染症情報(59定点医療機関)

第22週 平成29年5月29日(月)～平成29年6月4日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第22週							計	前週	全国(21週)	高知県(22週未累計) H29/1/2～H29/6/4	全国(21週未累計) H29/1/2～H29/5/28
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	高知市					
インフルエンザ*	インフルエンザ			3	2	4			1	10 ( 0.21)	21 ( 0.44)	3,344 ( 0.68)	14,628 ( 304.75)	1,351,787 ( 272.81)
小児科	咽頭結核熱			2	12				1	20 ( 0.67)	10 ( 0.33)	2,867 ( 0.91)	165 ( 5.50)	27,119 ( 8.57)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			13	47	6		2	15	83 ( 2.77)	66 ( 2.20)	10,334 ( 3.26)	1,344 ( 44.80)	154,043 ( 48.70)
	感染性胃腸炎		12	17	55	6		17	107 ( 3.57)	137 ( 4.57)	22,877 ( 7.23)	3,107 ( 103.57)	398,172 ( 125.88)	
	水痘			7	15			1	23 ( 0.77)	18 ( 0.60)	1,626 ( 0.51)	295 ( 9.83)	24,478 ( 7.74)	
	手足口病			25	25	9		18	78 ( 2.60)	32 ( 1.07)	3,077 ( 0.97)	155 ( 5.17)	18,462 ( 5.84)	
	伝染性紅斑				1			2	3 ( 0.10)	3 ( 0.10)	330 ( 0.10)	77 ( 2.57)	5,236 ( 1.66)	
	突発性発疹		4	9				2	15 ( 0.50)	12 ( 0.40)	1,846 ( 0.58)	235 ( 7.83)	28,620 ( 9.05)	
	百日咳								( )	( )	28 ( 0.01)	15 ( 0.50)	523 ( 0.17)	
	ヘルパンギーナ		2	3	1			1	7 ( 0.23)	6 ( 0.20)	739 ( 0.23)	20 ( 0.67)	3,437 ( 1.09)	
	流行性耳下腺炎		2	2					4 ( 0.13)	3 ( 0.10)	1,471 ( 0.46)	138 ( 4.60)	39,871 ( 12.61)	
	RSウイルス感染症								( )	( )	698 ( 0.22)	222 ( 7.40)	17,585 ( 5.56)	
	眼科	急性出血性結膜炎								( )	( )	10 ( 0.01)	( )	178 ( 0.26)
流行性角結膜炎									( )	( )	605 ( 0.87)	9 ( 3.00)	8,146 ( 11.74)	
基幹	細菌性髄膜炎								( )	( )	7 ( 0.01)	1 ( 0.13)	212 ( 0.44)	
	無菌性髄膜炎								( )	( )	18 ( 0.04)	3 ( 0.38)	325 ( 0.68)	
	マイコプラズマ肺炎			2					2 ( 0.25)	3 ( 0.38)	115 ( 0.24)	61 ( 7.63)	3,620 ( 7.59)	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								( )	( )	3 ( 0.01)	6 ( 0.75)	108 ( 0.23)	
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)			8					8 ( 1.00)	13 ( 1.63)	200 ( 0.42)	62 ( 7.75)	4,233 ( 8.87)	
計(小児科定点当たり人数)	12 ( 6.00)	75 ( 10.57)	181 ( 15.48)	26 ( 8.13)	24 ( 12.00)	42 ( 8.33)	360 ( 11.55)			50,195	20,543 ( 497.19)	2,086,155		
前週(小児科定点当たり人数)	16 ( 8.00)	61 ( 8.72)	156 ( 12.69)	17 ( 4.72)	25 ( 12.50)	49 ( 8.90)		324 ( 10.01)						

注 ( )は定点当たり人数。

### 高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第22週							計	前週	全国(21週)	高知県(22週未累計) H29/1/2～H29/6/4	全国(21週未累計) H29/1/2～H29/5/28
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	高知市					
インフルエンザ*	インフルエンザ			0.27	0.13	0.80			0.13	0.21	0.44	0.68	304.75	272.81
小児科	咽頭結核熱			0.29	1.09			0.50	1.00	0.67	0.33	0.91	5.50	8.57
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1.86	4.27	2.00		1.00	3.00	2.77	2.20	3.26	44.80	48.70
	感染性胃腸炎		6.00	2.43	5.00	2.00		3.40	3.57	4.57	7.23	103.57	125.88	
	水痘			1.00	1.36			0.50	0.77	0.60	0.51	9.83	7.74	
	手足口病			3.57	2.27	3.00		9.00	2.60	1.07	0.97	5.17	5.84	
	伝染性紅斑				0.09			1.00	0.10	0.10	0.10	0.10	2.57	1.66
	突発性発疹			0.57	0.82				0.40	0.50	0.40	0.58	7.83	9.05
	百日咳								( )	( )	0.01	0.50	0.17	
	ヘルパンギーナ			0.29	0.27	0.33			0.23	0.23	0.23	0.67	1.09	
	流行性耳下腺炎			0.29	0.18				0.13	0.10	0.46	4.60	12.61	
	RSウイルス感染症								( )	( )	0.22	7.40	5.56	
	眼科	急性出血性結膜炎								( )	( )	0.01	( )	0.26
流行性角結膜炎									( )	( )	0.87	3.00	11.74	
基幹	細菌性髄膜炎								( )	( )	0.01	0.13	0.44	
	無菌性髄膜炎								( )	( )	0.04	0.38	0.68	
	マイコプラズマ肺炎				0.40				0.25	0.38	0.24	7.63	7.59	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								( )	( )	0.01	0.75	0.23	
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)				1.60				1.00	1.63	0.42	7.75	8.87	
計(小児科定点当たり人数)	6.00	10.57	15.48	8.13	12.00	8.33	11.55				497.19			
前週(小児科定点当たり人数)	8.00	8.72	12.69	4.72	12.50	8.90		10.01						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869